

(別紙4(2))

事業所名 グループハウス愛

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 12月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	6	施設前が交通量の多い市道に面しているため、各ユニットの出入口と、ホーム玄関に鍵を掛けてある。	各ユニットの出入口の施錠について、緊急やむを得ない場合を除き、最大限の解錠状態を確保する。	スタッフルームに職員がいて、見守りが確保される場合は施錠しない。 1ヶ月
2	2	地域交流については、イベント開催等で学区の皆さんとの交流に努めているが、近隣住民が日常的にハウスを訪問することでの交流や、ハウスの持つ介護に関する専門性・知識・機能を公開することでの交流は、さほど進展していない。	認知症学習会や相談会を定期的を開催するなどの交流を進展させる。近隣の幼稚園・保育園、小中学校との交流を促進する。	地域住民アンケート等を通じて、地域におけるハウスの認知度を把握する。同時に、地域のニーズを探る。 3ヶ月
3	13	経験年数やレベルに応じた外部研修と、月例の内部研修を実施しているが、効果は即効とは言い難い。	研修を各自が再検証すると共に、職員間での伝達講習の講師を務め、各自の研修内容を全員で共有できるようにする。	伝達講習の定期化。 3ヶ月
4				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。